

シルバーだより もとみや



本宮駅：SL福島プレDC号

CanonEOS60D SIGUMA28-300mm1.35-6.3

1/250sec.F11 ISO400 29June AM10:24

11号

■発行日/平成26年9月1日 ■発行所/公益社団法人本宮市シルバー人材センター
■住所/本宮市本宮字馬場74-1 本宮市福祉会館内 ■電話/0243-34-5226
■E-mail: silver-motomiya@cameo.plala.or.jp ■URL: <http://www.silver-motomiya.com/>

「平成26年度 安全・適正就業推進大会」開催する

平成26年7月20日 日曜日に平成26年度の安全・適正就業推進大会を開催いたしました。

〔大会の趣旨〕

シルバー人材センター事業は、高齢化が進展する中、地域社会活性化のための中核事業としてますますの発展拡充が期待されているところであります。

一方、事業規模の拡大に伴い、センター会員の就業中及び就業途上の傷害・災害事故は増加の傾向にあり、他のシルバー人材センターにおいては特に死亡事故の発生が後を絶たないところであります。

本大会は、高齢者が健康で「働く」ことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会に貢献していくことを目的としており、日頃から安全・適正就業に対する意識の高揚を維持していくことが大切であります。

このため、当センターでは、福島県シルバー人材センター連合会の方針を考慮し、安全・適正就業について、より着実な成果を期するため「安全・適正就業推進大会」を開催するものです。

表彰

表彰は、安全・適正就業推進大会開催要領第五条表彰規程に基づき「優良表彰」と「特別表彰」、「安全標語表彰」の該当者を表彰いたしました。

*優良表彰（十年以上無事故で就業した会員）

國分治 壽（白沢第三班）
伊藤三郎（本宮第五班）
矢吹ナミ子（本宮第五班）
矢吹ミヨ子（本宮第五班）
武田洋子（白沢第二班）
堀田一（白沢第三班）
安藤昇（白沢第三班）
渡邊教行（白沢第三班）
渡邊代津（白沢第三班）

*特別表彰（二期四年安全就業に推進した役員）

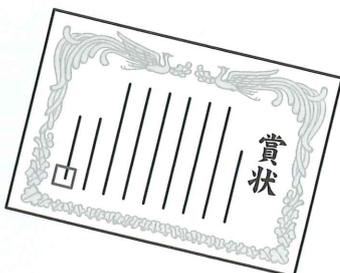
地域班 遠藤正志（本宮第五班） 世話人
職群班 渡邊由訓（草刈白沢二班） 班長

*特別表彰（就業開拓に尽力した会員）

渡辺功（剪定伐採班） 班長
佐久間宗雄（剪定伐採班） 副班長
増子昭治（草刈本宮二班） 副班長

*安全標語表彰（安全標語応募入選した会員）

最優秀賞 高根寅記
優秀賞 渡邊功
佳作 菊地次雄
川名勇一
増子昭治



大会の参加について

安全就業委員会委員長 三 瓶 幹 夫
 適正就業委員会委員長 菅 野 昇 次

本日は、「平成26年度 安全・適正就業推進大会」を開催いたしましたところ、会員の皆様には、ご多用の折多数のご参加をいただきましたこと誠にありがとうございました。

私たちは、「安全・適正就業推進大会開催要綱」の趣旨に基づき、会員の安全就業と事故ゼロを目指して今回本大会を開催いたしました。

今後も、講習会、研修会、安全パトロールを開催いたしますので、会員皆様の積極的な参加をお願いいたします。この大会を契機に、傷害事故ゼロを目指し、会員皆様のご協力をお願いいたします。

シルバー人材センター安全10則

守ろう安全就業・事故の悲劇は家族

県内のシルバーで、作業中事故が増えております、死亡するという痛ましい事故がありました。事故防止のため、就業にあたっては、次の安全心得を守り作業を行いましょう。

- 1 作業は、安全第一を心がけ、急いんだりあわてたりしないこと。
- 2 器具類は、使用前に必ず点検すること。
- 3 服装・履物は、作業に合った動きやすいものとする。
- 4 就業前には、軽い柔軟体操等により体をほぐすこと。
- 5 加齢による諸身体機能の低下を充分認識し、無理をしないこと。
- 6 作業現場では、常に整理整頓を心がけること。
- 7 共同作業では、合図・連絡を正確に行うこと。
- 8 自宅を出たら就業の意識を持ち、交通事故等に充分気をつけること。
- 9 常に健康に留意し、心身ともに健康な状態で就業すること。
- 10 就業の前日は、充分な睡眠を心がけること。

年度別事故の発生状況

年度	傷害事故 件数	内 訳				事故増加 指数	賠償責任 件数	内 訳			物損 事故	備 考
		死亡事故	入院事故	通 院	後遺障害			請負	生産物	受託者		
25	5			5		2	2			5		
24	1	0	0	1	0	50	0			2	12月19日に発生	
23	2	0	0	2	0	50	2	2		2		
22	4	0	0	4	0	200	1	1		2	蜂に刺された	
21	2 (1)	0	0	2(1)	0	100	1		1	0		
20	2 (1)	0	1	1(1)	0	100	0			0	重篤事故1件発生	

() 内は、就業途上の事故

意見発表表



明間 祐壽

いください。

仕事は、駅前駐車場の自転車と車の駐車管理です。

大半のお客様は、列車の時間ぎりぎりに駐車場に来て料金を払って行きます。お金を扱いますので、間違いの無い仕事が必要されます。

些細な言葉使いで、お客様の気分を害することの無いよう、就業会員一同心がけております。就業で、心がけているのは、あいさつです。毎朝の「おはようございます」この一言が一日の始まりです。

他人に迷惑をかけた時には、言い訳をしないですぐに謝罪し、トラブルになる前に善処する様心がけております。身だしなみも大切です、働く身なりがありません。態度は、心の表れです。

働く事の基本は、健康であること、皆さんの体調は、如何ですか。私は、三年前に胃がんが見つかりました。

見つかる前年には、異常がありませんでした。年寄りの癌の成長は、遅いと聞いておりましたが、それは現実ではありませんでした。

私の胃袋は、四分の三を取りました。皆さんの参考になればと、ホームページに「安達太良の里」を検索し、談話室を開いてください。

経過を載せておりますから是非ご覧ください。今の医学は、素晴らしいものです、健康診断を受け長生きが出来る環境です。皆さんも健康を過信せずに自分に合った健康管理に努めましょう。

影山 新治

平成二十二年にシルバーに入会しました。デイサービスの送迎運転業務を担当しております。

利用者は、六十歳代から九十歳代が利用しています。運転走行は、慎重に安全に、乗っていて安心していただくことを心がけております。車を動かす時は、「出発します」「動きます」「曲がります」「止まります」と声かけして運転してます。

特に心がけているのは、「交差点は、一時停止等安全確認」「歩行者と自転車バイクには気をつける」「パーセント減速」「十分な車間距離」「十分前に出発」「十分な休憩」を常に肝に銘じて運転しています。

自分の健康は、第一の心臓と言われています、ふくらはぎのマッサージです。

上下に二、三分程度一日何回かやります。会員の皆さん、良く体を動かしてください。若くはないのです。あせらず、無理せず、楽しく業務にあたってください。

「人生は、一回」「勉強は、一生」悔いのない生活を送りましょう。頑張っべない



記念講演

演題 「高齢者の交通安全」

講師 郡山北警察署本宮分庁舎

交通第二係長

佐藤 誠一様

事故・けがにあわずに元気に過ごすことが大切です。

交通事故の現況と地域の実情を交えて、安全の心得を懇切丁寧に説明いただきました。

有意義な講演でした。



大会を終えて

大会の参加者は、42名でした。昨年は、65名と20名減しました。

役員12名、表彰者17名と関係者29名で、一般会員の参加は、13名と予想より少ない参加者でした。

参加者が少なかった理由として、開催日が三連休の真中日、記念講演の演題が「交通安全」と就業から少し離れていたことから会員のみなさんの要望から今一であったことが参加者が少なかったのではないかと反省いたしました。

会員の安全就業は、会の最大課題です。

本大会は、会員の皆さんの無事故・無災害の安全就業のために開催する大会です。

会員の参加意識をより向上すべき大会にしてゆきたいと存じます。

自分のための安全就業ですから、会員皆さんの積極的な参加をお願いいたします。

平成25年度 事業報告書

I 事業報告

25年度の目標に対する実績は、会員は、増減0、受注件数は、54件の増、就業率は、2.97%の増、就業延人員数は、1,205人日の増、契約金額は、3,692千円の増、となり予想以上の増をいたしました。

事業は、項目別に目標を設定して事業を遂行いたしました。

II 事業項目別の成果

- 1 組織運営体制の強化は、地域班及び職群班活動、会員の就業意識・資質向上のため、研修を実施し成果を上げることができました。
- 2 就業機会の開拓は、独自事業の創設を行い、新たな就業の開拓に努めました。
- 3 会員増強の推進は、入会説明会を6回開催いたしました但し退会者が多く、会員の増加にはなりませんでしたが。
- 4 安全就業の推進は、第1回の安全適正就業推進大会を開催しました。また、傷害事故を防止するため、安全講習会開催、就業の徹底の安全パトロールを実施いたしました。
- 5 就業体制の強化は、職群班の自主的就業の強化が班員に浸透し始めており、継続して活動を推進いたしました。
- 6 適正就業の推進は、長期就業の是正と改善をはかるべく、長期就業者への説明会を実施し主旨の理解を得るよう進めました。
- 7 労働者派遣事業に参入してから3年目となり、就業開拓を組織的に推進いたしました。
- 8 普及啓発活動の推進は、事業内容等の開示とホームページ、会報シルバーだよりを活用し、センター情報の周知を図り、啓発活動の推進に努めました。
- 9 調査研究は、お客様満足度調査研究の分析と検証を実施いたしました。
- 10 公益社団法人移行2年目として運営を開始し、地域貢献は、社会奉仕活動、高齢者の社会参加活動を積極的に支援し、さらに地域社会が求めるニーズに応える業務の開拓と事業活動の展開をすすめました。
- 11 職業紹介事業は、有料職業紹介への移行のため、準備作業をいたしました。

決算監査

四月二十五日、根本義一監事・村上敬子監事による決算監査が開催され、監査計画第三条の規定に基づき、平成二十五年度決算監査が実施いたしました。

監査の内容は、就業状況および事業に伴う収入の収入状況、支出は、会員への配分金支払、収支計算書、現金・預貯金出納、理事の業務執行状況の管理状況等十項目について監査を受けました。

監事から就業に伴う経常収益、事業運営等の経常費用は、適正に処理されおり、事業の内容については、定款の規定に基づき、実施されている。今後とも会発展のため適正・的確な運営に努めるよう申入れがありました。

項目	事項
センター会員数(平成25年4月1日)	172人
同上 男	120人
同上 女	52人
受注の件数	865件
就業実人数	169人
就業延実人数	3,709人
就業延人日数(日数)	15869人
就業率	100% (就業者169人/会員数168人)
25年度 決算状況	
1 経常収益額	88,787,060円
(公益目的会計額)	(85,960,000円)
(法人会計額)	(2,827,060円)
2 経常費用	88,436,643円
(公益目的会計額:事業費)	(85,609,583円)
(法人会計額:管理費)	(2,827,060円)
会員1名当たりの就業実日数(延人員/会員数)	93.9日
会員1名当たりの配分金額	359,000円
事務費収入額	6,558,375円
総収入に占める事務費の割合	7.38%
配分金 基準	地域最低賃金664円を参考
正会員年会費	3,000円
会費収入年総額	575,000円
補助金等(25年度)	12,796千円
(国・連合交付金)	(6,398千円)
(都道府県分)	(398千円)
(市町村分)	(6,000千円)

みんなの広場

無事故の就業に感謝

伊藤 三郎



シルバーには、平成13年に加入し、12年間無事就業してきました。
 主な就業は、草刈を中心に軽作業を担当しております。
 怪我も無く、無事に今まで就業できましたのは、会員皆さんの手助けがあったものと感謝いたします。今回、10年無事故の表彰をいただきましたことは、真に光栄に思います。
 これからも、健康に注意して、安全に就業したいと考えております。
 会員それぞれが安全就業を心がけて就業することがシルバー人材センターの一番の課題ではないでしょうか。

「みんなの広場」の 原稿募集 この頁は、会員の皆さんが投稿により、日頃思うこと、旅行紀行、俳句、川柳等自由にお使いください。

互助会だより

次の事業を開催いたしますので、ふるって参加をお願いします。

一、奉仕活動の実施について

(1) 市内清掃作業

*日 時 10月5日 日曜日 午前8時30分～
 *実施場所 本宮地区・市福祉会館周辺
 白沢地区・白沢老人福祉センター

二、安全就業の推進

(1) 健康講座

*演 題 《自分の健康は自分で守る》
 *講 師 医療関係者予定
 *日 時 10月5日 日曜日 午前10時30分～
 *場 所 白沢老人福祉センター
 ※昼食を準備いたしますので、出欠をお願いします。

三、会員親睦交流会の実施について

(1) 一泊交流会

*日 時 10月5日(日)～6日(月) 1泊
 *研修地 三春町 馬場の湯 若松屋
 *参加費 10,000円
 *募集人員 30名
 *日 程 ①午後3時30分 センター集合・出発
 ②午後4時00分 旅館着
 ③午後5時30分 交流会開催
 ④翌日午前10時 旅館出発・解散
 *参加申込み 参加費を添えて申し込みください、
 定員になり次第締め切ります。

互助会定期総会

会員互助会の定期総会を次のとおり開催いたしました。

一、開 催 日 5月30日 金曜日

二、開 催 場 所 白沢老人福祉センター

三、会長あいさつ 明間祐壽

26年度は、予算をより有効に活用した会運営を行いたいと存じます。

役員が新たに地域班から選任されました、会発展のため皆様のご協力とご尽力をお願い申し上げます。

四、議 事

- 議案第1号 平成25年度 事業報告及び決算承認の件
- 議案第2号 平成26年度 事業計画及び収支予算承認の件
- 議案第3号 会則の一部改正の件
- 議案第4号 役員選出に関する件



年会費の使途

年会費を集めているが、どのように使用しているのかと質問がありました。

会員の皆さんには、定款第7条及び会費規程第3条に基づき、会運営として年会費3,000円を納入いただいております。

会員一人当たりの運営経費は、6,309円となり、1,059,912円を支出して、会員皆さんの福利厚生を行っております。

会員の皆さんが安心して就業していただくため、会費以上の経費を支出しております。詳細と金額は、次のとおりです。

会員会費		3,000円/年額		会員数 168名	
会費収入額	504,000円				
会員一人当たりの経費	6,309円	支出総額	1,059,912円		
会からの一人当たり負担額	3,309円	会費からの不足額	555,912円		
上記不足額は、本会計から負担しています。					
(内 訳)					
① 傷害保険	1人当たり	2,810円			
② 賠償保険	1人当たり	792円	小計3,602円		
③ ホームページ業務	1月当たり	16,275円×12月	195,300円		
④ 会報シルバーだより	1回当たり	136,080円×2回発行	272,160円		
⑤ テキスト			210円		
⑥ ワッペン			160円		

悪徳商法にご用心

世知辛い世の中を反映して、特に最近とみに多くなっています。悪徳商法、次から次へと出て来て、引つかかる人の多いです。そのだまし取る金額も、会社ぐるみの大口なケースはさておき、ごく身近で手軽に手を出せる範囲で、かつ広域に及ぶのが目立ってきています。それだけ、巧妙な手口となり、特に高齢者に親切を装って近づき預金を巻き上げてしまいます。

【悪徳商法の種類】

- ① 振り込め詐欺（おれおれ詐欺）
- ② 架空請求詐欺（身におぼえない利用料金請求）
- ③ ワンクリック詐欺（迷惑メールのホームアドレスをクリックしたら請求）
- ④ フィッシング詐欺（実存する企業名を装い個人情報聞き金銭を騙し取る）
- ⑤ かりり商法（官公庁を装い器具を売りつける）
- ⑥ 霊感・霊視開運商法（心理を不安にさせておき、法外な祈禱料を請求）
- ⑦ 士（資格）商法（〇〇士の資格が取れるとだます）
- ⑧ 原野商法（利殖目的の価値のない土地を売りつける）
- ⑨ アポイントメント（呼び出し）商法（貴方が当選したと呼び出し売りつける）
- ⑩ キャッチセール（駅前等でアンケートを求め振りつけて売りつける）
- ⑪ 送りつけ商法（注文してない商品を送りつける）
- ⑫ 催眠商法（説明会で人を集めて無料配布して別の高額商品売りつける）
- ⑬ 危険点検商法（訪問し、家の危険度を強調して商品売りつける）
- ⑭ 見本工事商法（住宅の工事で見本工事で割引くと契約させる）
- ⑮ ホームパーティ商法（講習会を依頼して、近所の人を集め高額商品売る）
- ⑯ 内職商法（内職を斡旋するかのようにして高額商品売りつける）
- ⑰ 紳士録商法（紳士録に搭載するからと登録料を請求）
- ⑱ 現物まがい商法（ゴルフ・リゾート会員権の現物を渡さない）
- ⑲ 海外先物取引商法（農産物の先物にリスクを隠して売りつける）
- ⑲ 紹介屋商法（簡単な手続きで融資出来るよう誘い、別の店を紹介してだます）

その他、まだまだいっぱい悪徳商法があります。

世の中オイシイ話は、転がってません。上手すぎる話には必ずウラがあります。見知らぬ人が近づいてくるときは要注意。

会員入会説明会を開催

六十歳以上の皆さんを対象にシルバー会員の入会説明会を四月二日、七月二日開催いたしました。

参加者には、「会員のしおり」を配布し、総務部会担当の理事から会の目的、事業等の会の基本的事項の説明を行いました。

今回は、十一月五日(水)に開催します。

新会員加入者名

二十六年一月から二十六年七月

荒川 政雄	本宮第三班	浦井 トミ	本宮第一班	武田 収	本宮第四班	渡辺 三枝子	本宮第一班	長山 洋子	本宮第二班	松島 きみ子	本宮第五班	石橋 良一	白沢第一班	本泉 八子	本宮第五班	遠藤 嘉一	本宮第三班	國分 成浩	本宮第二班	齋藤 秀勝	本宮第二班	佐藤 義一	本宮第一班	富山 秀一	白沢第一班	清水 陽子	本宮第三班	橋本 克子	本宮第四班	永福 あさ子	本宮第一班	渡辺 みね子	白沢第三班	長尾 健一	本宮第二班	渡辺 孝子	本宮第二班	国分 敏雄	白沢第一班	江口 史朗	本宮第二班
-------	-------	-------	-------	------	-------	--------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

職員人事

25年4月1日付、人事異動を行いました。

《退職》

次 長 荒川 政雄

《新採用》

業務主任 小林 清隆



事務所移転

今までの、センター事務所が阿武隈川左岸築堤工事施工区域となるため、事務所を移転いたしました。

* 移転先 本宮字馬場74番地1
* 電話番号 0243-34-5226



訃報

本宮第三班の寺村良生氏、七月三日に御逝去されました。御冥福をお祈りいたします。

編集後記

若いつもりで、柵を飛び越えようとして転倒。

病院でレントゲンを撮る、圧迫骨折で入院。四〇代以前なら、二週間でギプスが取れるのが、年齢から五週間かかり、治癒までには、半年はかかると先生に言われ五十日の入院。

太もも、ふくらはぎが極端に細くなり、退院後のリハビリはきつい思いをしました。

高齢の転倒は、これからの余暇活用から充分に注意しなければならない事を実感いたしました。

皆さんも転ばないように注意しましょう。

* 広報委員会 *

委員長	遠藤 正志
副委員長	根本 恵美
委員	佐藤ヒサイ
委員	渡邊 和彦
委員	荒川 政雄